

市長所信



市議会令和8年6月定例会が、6月1日から6月19日までの19日間の日程で開催されました。開会日に、当面する市政の重要課題について、岩佐市長が所信を表明しました。抜粋して要旨部分のみを掲載します。

「災害に強く安全」

「安心な阿南」の創生

本年3月8日に開通いたしました「小松島南インターチェンジ」阿南インターチェンジ間につきましては、市民が長年、待ち望んでいた高規格道路、本市初のフルインターチェンジが現実となったもので、私としても大変喜ばしく感じております。

このたびは、3.2キロメートルという「ひと区間のみの」開通ではありませんが、開通直後の交通状況を国が調査したところ、この区間の交通量は平日12時間で約3300台、また、開通区間に並行する県道22号、県道130号では交通量が約1割減少し、朝夕の通勤時間帯における交通渋滞がかなり緩和されているとのことであり、想像を超える効果が既に現れております。

近い将来「徳島津田インターチェンジ」までが開通した際には、全国の高速度路網と直結し、本市における「命のみち」、「活力のみち」として、計り知れない程の効果を生むものと考えます。

とも重要であると考えております。本事業の実施にあたっては、国の学校給食費の抜本的な負担軽減、いわゆる給食無償化制度を活用いたしますが、基準額を超える部分については市が負担することとしており、子育て世代の保護者の負担軽減につなげてまいります。

今後とも国に対して、小学校の学校給食費の完全無償化に向けた財政支援のさらなる拡充と、中学校の学校給食費の早期無償化の実現について、県市長会はもとより、全国市長会などとともに、引き続き私自身が先頭に立ち、強く要望してまいります。

「健康でひとに優しい阿南」の創生

HPVワクチンについては、過去に副反応への不安から国において積極的勧奨が差し控えられた時期もありましたが、ワクチンの有効性と安全性が確認されたことにより、令和4年度から改めて積極的勧奨が再開されております。

子宮頸がんは、若い世代でも発症する可能性があり、ワクチンによって、原因となるウイルスの感染について約8割から9割の予防効果が期待できる数少ないがんの一つであります。

現在、本市では、国が推奨する接種時期に合わせ、中学1年生を対象に

次に、徳島県が管理する「三谷川」流域は、これまで度重なる浸水被害に悩まされてきた地域であり、地元協議会から毎年のように治水対策の要望が寄せられ、また市議会におきましても、これまで繰り返し議論いただいているところであります。

本市といたしましては、正に喫緊の課題であると認識し、粘り強く県に要望活動を行ってきた結果、三谷川での堤防整備や河道掘削をはじめ、流域全体を進める既設排水機場の改築・増強の検討や「特定都市河川浸水被害対策法」に基づく「特定都市河川の指定」など、さまざまな対策が盛り込まれた「河川整備計画素案」が県より示されました。

三谷川がこの「特定都市河川」に指定されることにより、流域内での一定規模以上の「土地の改変」に対し、雨水貯留浸透施設の設置が義務付けられるなど、土地利用に関わる「許可制度」が導入されることとなります。

こうした「雨水を一時的に貯留、また浸透する機能の確保」については、流出雨水量の増加を抑制し、流域全体の浸水リスクを最小化させるための

勧奨通知を送付してまいりましたが、このたび、徳島県小児科医会や阿南市医師会など5団体から、専門的知見を踏まえ、より早い段階から保護者の皆さまに正しい情報を届け、十分に理解していただいた上で、接種を検討できる環境づくりを進めることが重要であるとのご提言をいただきました。このご提言を踏まえ、本市は今年度から新たに小学6年生を対象とした勧奨通知を行い、接種機会の確保と将来の子宮頸がん予防につなげてまいります。

「歴史・文化とスポーツでにぎわう阿南」の創生

一般財団法人日亜ふるさと振興財団より、市内の児童・生徒向けに科学センターで実施されている「科学センター理科学習」に役立ててほしいと、直径約7メートルのプラネタリウムドームをご寄贈賜り、去る4月17日に新たなプラネタリウムの完成を祝う式典を執り行いました。このドームは、住宅などに見られるドームハウスを転用して作られた国内唯一のもので、「日亜プラネタリウム」とされました。

これにより、既存のものに比べ、収容できる人数は今までの約20人から倍の約40人となり、市内全ての小中学校においてクラス単位の学習が可能となったほか、バリアフリーにも対応し、車椅

礎となるものであります。

この「特定都市河川指定」につきましては、県および本市において、これまで地元市議会議員の皆さまに対してお説明をはじめ、地元協議会や自治会、また関係する各種団体等に対し、丁寧な説明を重ねてまいりましたところ、本施策の推進におおむねご理解をいただくことができたものと受け止めております。

本市としては、こうした三谷川を「特定都市河川」に指定する手続に「賛同」し、引き続き、河川管理者である県と足なみをそろえながら地域の安全確保に取り組んでまいります。

「地域産業が伸びゆく阿南」の創生

椿泊漁港で建て替え工事が進められておりました徳島県立椿泊漁港荷さばき所は、高度な衛生管理と作業効率の向上により、水産物の付加価値を最大化する拠点として、県により平成30年度から整備が進められてきました。

また、先月のゴールデンウィークには、一般向けに「日亜プラネタリウム」のお披露目放映が行われ、全ての回で満席となるなど、市民の皆さまに大きな関心を持ってご覧いただきました。

今後は「日亜プラネタリウム」を最大限活用することによって、市民や市内の児童・生徒に自然や科学に親しむ機会の提供、さらには理工系人材の育成にも役立ててまいりたいと考えております。

次に、本市と熊本県合志市は、令和元年10月に「阿南市・合志市パートナーシップ協定」を締結し、これまで両市に共通するハンセン病の歴史を踏まえた人権教育や人権啓発などを進めてまいりました。

また、本年1月14日に荒木合志市長が本市をご訪問いただいた際には、両市の関係を一層強固なものとするため、これまでの連携を「パートナーシップ」から「姉妹都市」へと発展させていくことを確認し、先月29日に合志市におきまして、姉妹都市提携調印式を執り行いました。

今後の取組といたしましては、本年12月に開催される第30回阿南市人権フェスティバルに、国立療養所「菊池恵楓園」を舞台とした「希望の鐘」の合唱で広く知られる合志中学校合唱部を招聘し、本市の中学生とともに合同合唱を披露していただく予定とし

本市も県営事業負担金を拠出するともに、関連工事を含め着実な整備を推進しており、先月15日には県主催のもと、開所式が挙行されたところであります。

今後、本市といたしましては、本施設が県南における海産物の集出荷の要として「椿泊ブランドの確立」、「魚価の向上」、さらには流通の最適化を図り、次世代へつなぐ持続可能な漁業の基盤となるよう、県や漁協等の関係機関と緊密に連携して取り組んでまいります。

「子どももなか笑顔あふれる阿南」の創生

本市では、子どもたちの健やかな成長と子育て世帯の経済的負担の軽減を図ることが喫緊の課題であるとの認識のもと、国の動向も踏まえながら、本年4月から小学校の学校給食費無償化を実施しております。

また、学校給食は、家庭の経済状況にかかわらず、全ての児童が等しくその恩恵を受けられる環境を整えるこ

とあります。この合唱を通じて、人権尊重のまちづくりを市民の皆さまと共有するとともに、次世代を担う子どもたち同士、交流を深め、両市の友好と絆をさらに深める機会としてまいります。

「地域の個性とぎざが輝く阿南」の創生

昨年度の「阿南市版ふるさと納税」の受入額は、約9億3千3百万円となり、過去最高を更新いたしました。また、受入件数も2年連続で5万件を超え、昨年度に引き続き高い水準を維持しており、本市を応援していただく関係人口の創出・拡大に着実につながっております。

本市の取組を応援いただいた皆さま、そして返礼品の提供を通じて本市独自の制度を力強く支えていただいた事業者の皆さまに、改めて深く感謝申し上げますとともに、全国の方から寄せいただいた温かいご支援は、お一人お一人の皆さまのご意向を踏まえながら、人口減少の抑制や地域経済の活性化をはじめとする各種施策に有効に活用してまいります。

全文は、市ホームページで公開しております。また、後日作成する市議会会議録は、市立図書館等で閲覧することができます。